

はびきの市民大学情報誌

はびきの市民大学だより

オータムコンサート・特別講義・生涯学習フェスティバル開催

10月18日(土)にサムテックホールMにて公開講座を開催いたしました。

第1部のオータムコンサートは「～Bar Daion へようこそ！世界を巡るお酒と音楽～」をテーマに大阪音楽大学音楽専攻科生による演奏です。お酒と音楽の取り合わせで進行される、目新しい構成で、演奏者による芝居もありました。和洋取り混ぜた楽器の演奏や声楽・ピアノの連弾など、盛りだくさんのコンサートでした。

第2部は小泉凡氏を講師に迎え、特別講義「現代によみがえる小泉八雲とセツの世界～『ばけばけ』を楽しく見るために～」を行いました。「朝ドラの出演者・制作スタッフたちと小泉先生が交流したときの話が面白かった」「八雲とセツの二人で紡いだ『怪談』が、世界中の言語に翻訳されていて驚いた」などの感想をいただきました。

また、アトリウムにて生涯学習フェスティバルを開催いたしました。近隣の大学の博物館についての案内やフードコーナーも設け、「アートにふれる秋」としてワークショップも行いました。



学 長 コ ラ ム 【第 75 回】

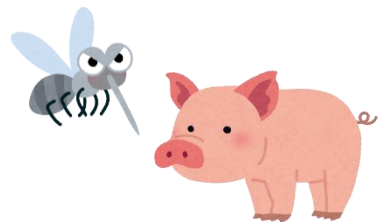


河内厚郎
(はびきの市民大学学長)

人を笑わせ、考えさせる「イグ・ノーベル賞」の生物学賞は、愛知県農業総合試験場の児嶋朋貴氏らの研究グループが受賞した。牛に縞馬のような模様を描くと、蛇などの血を吸う虫の付着数が半減することを明らかにした。受賞式では児嶋氏がジャケットを脱いでシマシマ姿になり、定例会見では大村秀章愛知県知事が縞馬の姿で臨んだ。

昨年の生理学賞は、豚などの動物に「お尻から呼吸する能力」を発見した、武部貴則教授（大阪大学・東京医科歯科大学）らの研究チームが受賞している。この研究は、ヒトを対象とした「腸換気法」（通称「尻呼吸」）の安全性と忍容性を確認する実証試験へ進展しているという。

日本人は模倣が上手だが独創性はないと昔はいわれたが、日本人の同賞受賞は19年も続いている。学ぶ（まなぶ）と真似ぶ（まねぶ）は語源が同じといわれるが、模倣が独創へ転じることもある。



インターンシップで学んだこと

四天王寺大学からインターンシップ生として参りました、大東です。参加させていただいた理由は、地域の皆様に寄り添っているというところに興味を持ち、沢山のイベントを地域の皆様に楽しんでいただけるように積極的に動いてみたいと思ったからです。今回5日間の研修の中でイベントや、講義がありました。そこで、2つ学んだことがありました。1つ目は、思いやりです。「講義中に寒そうにしている方がいたらエアコンの温度を上げるように」とお教えいただいたため、少し寒そうにされている方がいらしたので、エアコンの温度を上げました。そして講義終了後、受講生の方が私に「ありがとう」と言ってくださいました。その瞬間、人と人のつながりは、こうしてできていくのだなと思いました。この研修を終えても、思いやりの気持ちを持ち続けようと思いました。2つ目は、配慮です。講義をしてくださる先生がスムーズに始められるように事前にスクリーンの大きさなどの調整、パソコンの接続やお水の準備などを行いました。先生に気持ちよく円滑に講義をしていただくことが講義全体の質に影響してくるのだと思いました。2日目には、パイプオルガンランチタイムコンサートがあり、最後にMCを務めさせていただきました。ここでは、マイクを使っでの発表だったのですが、ホールに音が反響してしまうので、ゆっくりと話し聞き取ってもらうことを意識しました。このことから、私はもっと周りをよく見て、思いやりと気配りをしながらもっと積極性をもって動いていくべきだと学びました。ここで学んだことをこれから、人とのつながりを大切にしながら、社会に貢献できるように生かしていきたいです。

12月の聴講のご案内

⑬ 岩石の不思議な世界

日曜 14:30～16:00

12/7	海面変動と地形の変化-マントルの流動-	大阪府立大学 名誉教授 前川寛和
12/14	一塊の白亜-ドーバー海峡の白い壁-	
12/21	隕石・かんらん岩・月の石	

⑭ 大阪の語り芸【学長企画講座】

土曜 10:30～12:00

12/20	上方落語の基礎知識と令和の若手事情	米朝一門・米二門下の若手噺家 桂二豆
-------	-------------------	--------------------

⑮ 多極化する世界と大阪【阪南大学提携講座】

土曜 14:30～16:00

12/20	現代に生きる英国ヴィクトリア朝の文化	阪南大学国際学部 教授 杉村醇子
-------	--------------------	------------------

- 場 所 羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの) 3階 視聴覚室
- 申 込 来館、電話、FAX
- 申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで ※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。
- 聴講料 1講義につき800円(当日1階市民大学カウンターにて支払い)

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号 LIC はびきの内
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分～17時30分(2階学習情報室 9時30分～16時30分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
※情勢により、感染予防対策をお願いする場合がございます。ご理解、ご了承のほどお願いいたします。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

ご個人情報の取り扱いについて

- ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に管理いたします。また、株式会社みのり「個人情報保護方針」のもと適切な取り扱いを致します。
- ご提出いただきました個人情報は、はびきの市民大学事務局が主催する講座の運営、受講生募集を行う目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご提出いただきました個人情報は、次の場合を除き、ご本人の同意なしに第三者に提供することはありません。
(1)講座実施にあたり、講座を担当する講師または講座委託会社に受講者のお名前、年代、性別、受講履歴を提供すること。
(2)公的機関からの法令に基づく照会を受けた場合。

はびきの市民大学

検索

